

●ブックトークシナリオ

【テーマ】 ゆかいな家めぐり

【対象】 小学校3・4年生

【所要時間】 26分

シナリオの記載方法について

- 動作は□で囲ってあります。
- 表示したページ番号は、ここで使用した本によります。版が違う場合は、確認してください。
- 本を朗読する部分は、【 】で囲った太字になっています。
- 本と本をつなぐ言葉は二重下線を引いてあります。

【紹介する本】

	書名	著者名	出版社	出版年
1	やかまし村の子どもたち	アストリッド・リンドグレン／作 イングリッド・ヴァン・ニイマン／絵 石井登志子／訳	岩波書店	2019
2	鳥の巣いろいろ	鈴木まもる／作・絵	偕成社	2006
3	ぼくのうちはゲル	バーサンスレン・ボロルマー／絵・文 長野ヒデ子／訳	石風社	2006
4	ものぐさトミー	ペーン・デュボア／文・絵 松岡享子／訳	岩波書店	1977

【シナリオ】

●導入

今日はいろいろな家の本を集めました。さあ、どんな家が出てくるでしょう？

1 『やかまし村の子どもたち』

表紙を見せ、指さす

これは『やかまし村の子どもたち』という本です。やかまし村はスウェーデンにあるとても小さな村です。村には家がたった3軒しかありません。3軒の家は並んで建っていて、6人の子どもたちが住んでいます。今日紹介するのは3軒の家の真ん中、中屋敷で起きたある出来事です。

p.9 イラストを見せる

これは、中屋敷に住む女の子リーサ。2人のお兄ちゃんラッセとボッセ、父さん、母さんと一緒に暮らしています。リーサはお兄ちゃんたちと同じ部屋を使っています。一緒だと楽しいこともあるけれど、ぞっとすることや、困ってしまうことがあります。例えば、

p.14 イラストを見せる

お兄ちゃんたちは、夜、お化けの話をしてリーサを怖がらせたり、

p.17 イラストを見せ、髭を指さす

大事なお人形に、髭を描いたりします。

p.22 1行目～8行目を読む

そんなある日、リーサにとっても素晴らしいことが起きました。7歳の誕生日の日の出来事です。何が起きたか書いてある場面を読みます。【ケーキの上には、「リーサ七さい」とアイシングで書かれています。(中略)父さんはあたしをくるくるとまわして、ひょいっとかつぎ、どこかわからないところへ運んでいきました。】いったいどこにプレゼントがあるのでしょうか？続きを読みます。

p.22 12行目～14行目を読む 【「さあ、リーサは、いまどこにいるのか、あててごらん！」

【(中略)すると、あたしたちは、いままで見たこともない部屋にいたのです。】

その部屋にはかわいい小さな花束模様の壁紙が貼ってあり、白いダンスと丸いテーブル、棚やイスがありました。父さんと母さんがおばあちゃんが使っていた部屋をリニューアルして、リーサにプレゼントしてくれたのです。リーサは大喜びしました。

表紙を見せる

この『やかまし村の子どもたち』にはリーサの誕生日プレゼントの話以外にも、南屋敷に住む男の子ウツレが自分の犬を手に入れた話や、大好きなおじいちゃんの話、男の子たちの秘密を女の子たちが探る話など、短くて楽しい物語がたくさん入っています。

2 『鳥の巣いろいろ』

今度は人間以外の生き物の家の建て方を紹介します。皆さんは自分で家を作って住む生き物を知っていますか？

子どもの発言(例「ビーバー」「クモ」)を聞く

表紙を見せる

『鳥の巣いろいろ』という本で、鳥の家の建て方を見てみましょう。

p.2~5 読み聞かせ 【鳥は、たまごをうむとき巣をつくります。(中略)ヘビのぬけがらでつくる鳥だっているのです。】

鳥の巣は、枯れ葉や、羽、ヘビの脱け殻などいろいろな材料を使って作られることがわかりました。では、巣の形はどうでしょう？みんな丸いお茶碗の形でしょうか？いいえ、いろいろな形があります。例えば、

p.10 イラストを見せ、説明する巣のイラストを指さす

縦に長い形の巣、

p.12~13 イラストを見せ、説明する巣のイラストを指さす

蓋がついている巣、屋根がついている巣、ヘビをブロックする偽の入り口がついている巣、

p.15 イラストを見せ、説明する巣のイラストを指さす

葉っぱをクモの糸で縫い合わせて作った巣、

p.20~21 イラストを見せ、p21の1行目を読む

9メートルもある、皆で作った大きな巣もあります。【鳥はなぜ、こんないろいろな巣をつくるのでしょうか。それは…】

p.22~23 読み聞かせ 【たまごはえいようがあるので、(中略)でも、鳥にとって、たまごはいちばんたいせつなものなので、たべられてはこまります。】

表紙を見せる

鳥が卵を守るための家の建て方を知りたい人は、後でゆっくりこの本を見てください。

3 『ぼくのうちはゲル』

表紙を見せる

鳥は巣を作る場所や材料を自由に決めることができました。人間はどうでしょう？いつでも好きな場所に好きな材料で家を作って暮らすことができるのでしょうか？

『ぼくのうちはゲル』にはテントのように持ち運びができる家「ゲル」と、そこで暮らすモンゴルの遊牧民の男の子ジルが登場します。

表紙を見てください。これは人々が馬やラクダに乗って、引っ越しをしているところです。春、夏、秋、冬、全部別々の場所で暮らすので、家を建てる材料や荷物を運んでいます。飼っている羊やヤギも一緒に連れていきます。ラクダの背中のかごに入って揺られているのが男の子ジルです。

持ち運びができる家「ゲル」はいったいどんな家でしょう？

丸い形が描かれているページを見せ、1行目を読む 【ぼくのうちは まあるいうちだよ】と書いてあります。ゲルの形は丸いことがわかりました。

ゲルを組み立てる場面のページを見せ、4行目~9行目を読む

これはゲルを組み立てるところです。材料や組み立て方が書いてあるので読みます。【まず ゲルをつくる ゲルは やなぎのきで くむ(中略)ほら しろい まあるいゲルが できた】

夏、草原に4つの完成したゲルが並ぶ場面のページを見せる

これが完成したゲルです。

ゲルの天井が見える場面のページを見せる

ゲルの中を見てみましょう。大きな柱があり、ベッドがあります。天井の丸い窓からは青い空が見えます。お父さん、お母さん、じいじ、ばあばと一緒に暮らしています。

ゲルの中で子羊が乳を飲む場面のページを見せ、4行目～12行目を読む

ゲルの中は動物もいます。【はるのちでは **たくさんの こひつじが うまれる (中略) シルと いっしょに ゲルのなかで あそぶ**】

表紙を見せる

好きな時にいつでも引っ越して建てることのできる家、ゲル。とても便利ですね。

4 『ものぐさトミー』

ゲルと同じように便利な家があります。

表紙を見せる

『ものぐさトミー』という本に登場します。「ものぐさ」というのは、何をするにも面倒くさがる人のことです。この男の子の名前はトミー・ナマケンボ。トミーの家は、とても便利な家です。読みます。

最初から最後まで読み聞かせ

●まとめ

紹介した本の表紙を順に見せ、本の書名を言う

さて、いろんな「家」が登場しました。最初は自分だけの部屋をもらった女の子リーサが登場する『やかまし村の子どもたち』、次に鳥の家の建て方を紹介した『鳥の巣いろいろ』、持ち運びができる丸い家に住む男の子の話『ぼくのうちはゲル』、最後に全自動の便利な家に住む男の子の話『ものぐさトミー』です。今日紹介した本は、全部図書館にありますので、ぜひ読んでください。

【その他の本】こちらの本もおすすめです。また、ご自身で追加・差し替えをするなど工夫してみましょう。

○家が登場する物語

- ・『おおきなさがほしい』 佐藤さとる／ぶん 村上勉／え 偕成社 1978年
- ・『おすのつばにすんでいたおばあさん』 ルーマー・ゴッデン／文 なかがわちひろ／訳・絵 徳間書店 2001年
- ・『大きな森の小さな家』 ローラ・インガルス・ワイルダー／作 恩地三保子／訳 ガース・ウィリアムズ／画 福音館書店 2002年
- ・『オンネリとアンネリのおうち』 マリヤッタ・クレンニエミ／作 マイヤ・カルマ／絵 渡部翠／訳 福音館書店 2015年
- ・『ティリーのねがい』 フェイス・ジェイクス／作 小林いづみ／訳 こぐま社 1995年
- ・『ちいさいおうち』 ばーじにあ・りー・ばーとん／ぶん・え いいいももこ／やく 岩波書店 2001年

○生き物の家の建て方がわかる本

- ・『こんにちは、ビーバー』 佐藤英治／文・写真 福音館書店 2007年
- ・『網をはるクモ観察事典』 小田英智／構成・文 難波由城雄／写真 偕成社 1999年 ★
- ・『モグラの生活』 飯島正広／文・写真 福音館書店 2010年
- ・『鳥の巣ものがたり』 鈴木まもる／文・絵 偕成社 2007年
- ・『世界の鳥の巣の本』 鈴木まもる／著 岩崎書店 2001年

○日本の家、世界の家

- ・『世界あちこちゆかいな家めぐり』 小松義夫／文・写真 西山晶／絵 福音館書店 2004年
※小学校3年生の国語の教科書(東京書籍)に掲載されています。
- ・『日本と世界のくらし 住』 日高真吾／監修 汐文社 2017年
- ・『こんな家にすんでたら』 ジャイルズ・ラロッシュ／作 千葉茂樹／訳 偕成社 2013年★

- ・『世界の住まい大図鑑』 野外民族博物館リトルワールド／監修 PHP 研究所 2013年 ★
- ・『それ日本と逆!?文化のちがひ習慣のちがひ [第1期]3 ウキウキ生活スタイル』
須藤健一／監修 学研教育出版 2012年
- ・『「イグルー」をつくる』 ウーリ・ステルツァー／写真・文 千葉茂樹／訳 あすなろ書房
1999年 ★
- ・『海のうえに暮らす』 関野吉晴／著 ほるぷ出版 2013年
- ・『マンヒのいえ』 クォン ユンドク／絵と文 | みせ けい／訳 セーラー出版 (現:らんか社)
1998年 ★
- ・『家をせおって歩く』 村上慧／作 福音館書店 2019年

○未来の家

- ・『もしも宇宙でくらしたら』 山本省三／作 村川恭介／監修 WAVE 出版 2013年
- ・『もしも月でくらしたら』 山本省三／作 村川恭介／監修 WAVE 出版 2017年

★は現在、新品が品切れなどで購入できません。図書館などでお探してください。

山梨県立図書館 2020.6